

今週の研究：正直であることは、口にするよりも実行することの方がはるかに難しいようです。どんなに「厳格な」人でも、よほど注意していないと、簡単に妥協してしまいます。ましてや、「ささいなこと」になると、なおさらです。

今週は、誠実な問題を取り上げ、それがさまざまな領域において私たちの生活に与える影響について考えます。

火曜日：これらの聖句の中に、多くの約束が与えられています。聖霊は内側から私たちを力づけてくださいます。聖書は、美容整形ではなく心臓手術のように私たちの内側から働いて、私たちを造り変えてくださいます。この変化は信じることによって、神の愛を体験することを求められます。

神は、私たちが「神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによって満たされる」ように望まれます。

パウロの自助的なニューエイジ（新時代主義）哲学、つまり私たちが自分の内にある力を引き出すことについて教えているのではありません。「わたしたちの内に働く」力とは、私たちが求め、思う以上のことをかなえてくださる神の力のことです。問題は、神によって導かれているか、それとも肉の性質に支配されているか、です。

木曜日：「真の宗教と健康の法則は一致する。健康を損ない、魂を墮落させ、聖なる真理を心に印象づけることを妨げる罪深い欲求の充足をやめる必要を説くことなしに、人々の救いのために働くことは不可能である。

すべての習慣や行いを注意深く点検し、体の健康を害し、心に暗い影を投げかける行為を直ちにやめるように、人々に教えねばならない。神はご自分の証人たちに人々の前につねに高い目標を掲げるように望まれる。彼は教訓と模範によって自らの高い標準をサタンの偽りの標準の上に高く掲げなければならない。サタンの標準は従う者たちの肉体と魂の不幸と墮落、病と死に導くものである。

金曜日：私たちの危険は欠乏からではなく豊かさから来る。私たちは絶えず度を越す誘惑にさらされている。神に奉仕するための力を確保しようと望む者たちは、自分の賜物の使用に関して厳しく節制し、有害で墮落的なあらゆる放縦から完全に遠ざかる必要がある。

妥協、譲歩・・・最初はわずかな一歩だけれども、それに慣れていくうちに、徐々に大きな危険が忍び寄ってくる・・・ほんとうによくわかります。

けれども同時にわたしたちは、21世紀の日本に住んでいます。その世界にあって聖書の原則をいかに適用させていくことも重要です。

そこで問われるのは、何をしたら適用か、妥協かではなく、そのことをしようとする想いの根底に何があるかではないでしょうか。そのような想いで、今までの標準としていることを変えるなり、ゆるめるかではないかと思えます。

何よりも、その場しのぎの施策や口約束などは、時間とともにかならずほころびが出ることは、今週日本をゆるがしているニュースを見るまでも無いことだと思います。

誠実な歩みは必ず祝福を受けて、すぐに成果が現れませんが、必ず本人を高め成果が与えられるものです。それを選ぶのはあなたしかできません。聖霊はそれを続けるように導き、サタンはそんなことは無駄だよと良心に語りかけるのです。

心の中に何を住まわせるかがとても大切です。戸をたたいてくださるイエスさまを、わたしの心に常にお迎えして歩んで行きたいです。